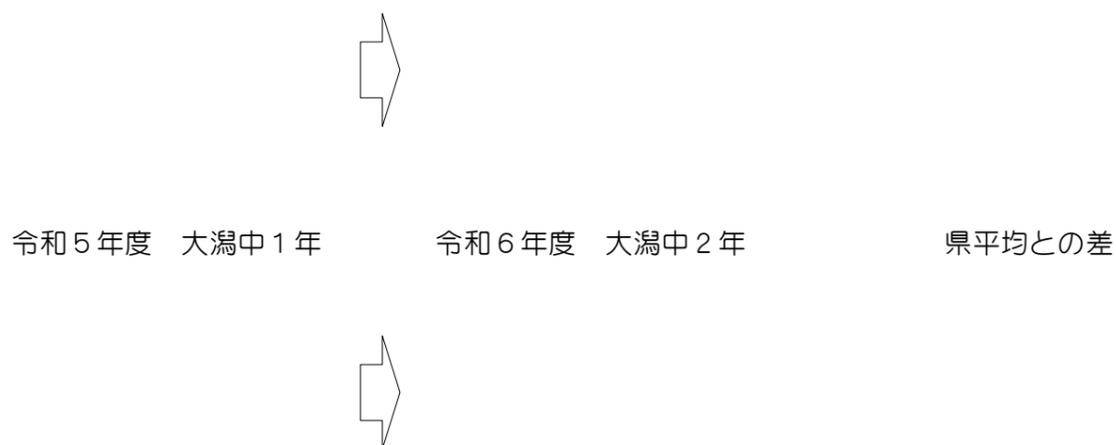


令和6年度秋田県学習状況調査の結果報告



昨年12月5日(木)、1、2年生を対象として秋田県学習状況調査が実施されました。先日、学校ごとの結果が発表されましたので、この調査(学力調査及び質問紙調査の一部)の結果をお知らせします。なお、このことについては、2月18日(火)に開催される学年末PTAの全体会において、口頭で説明させていただく予定です。

□学力調査の結果(平均正答率) ※ホームページ上の資料では、この結果は掲載しません。
 令和5年度 大潟小6年 令和6年度 大潟中1年 県平均との差



1年生は、昨年度、4教科とも県平均をポイント以上上回るという好成績を挙げていました。今年度は5教科とも、昨年度よりも県平均との差が大きくなりました。特に数学、理科の伸びが著しい結果となっています。2年生は、小6時に全教科で県平均を下回っていた状態から、昨年は全教科で県平均を上回るという結果となっていました。今年度は理科以外の教科は昨年度よりも県平均との差が大きくなっています。特に英語の伸びが著しく、国語、数学も大きく向上しています。この成績の伸びは、本校が取り組んできたICTを活用した授業改善の成果だと分析しています。昨年度まで取り組んできた、ICTを活用して自分の考えをもつことや、短時間で互いの考えを共有して話し合い活動を充実させたことに加え、今年度、問題解決能力の育成に意識的に取り組んできたことが、生徒の思考力・判断力・表現力等の向上につながったのではないかと考えています。小学校時代からの積み重ねがあつてこそですが、本校の今年度の取組が、生徒の力を引き出し、引き上げたものと考えています。今後もこの取組を継続し、生徒の学力向上に努めていきます。

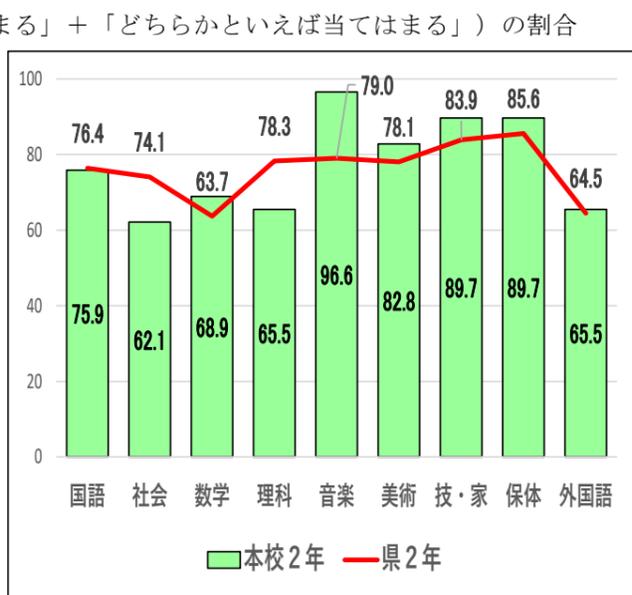
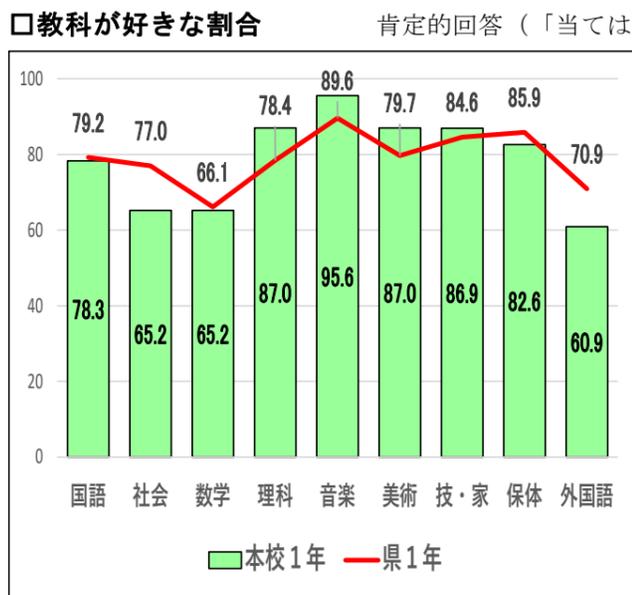
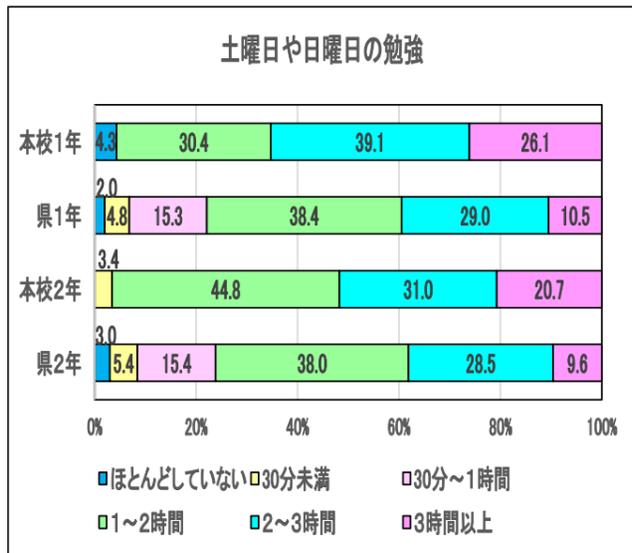
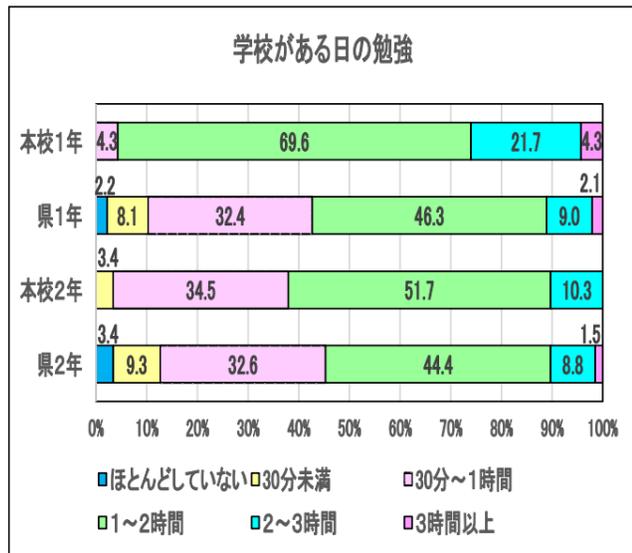
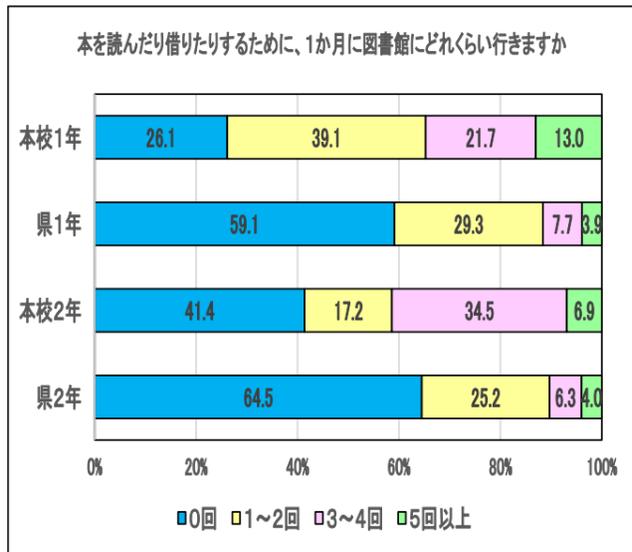
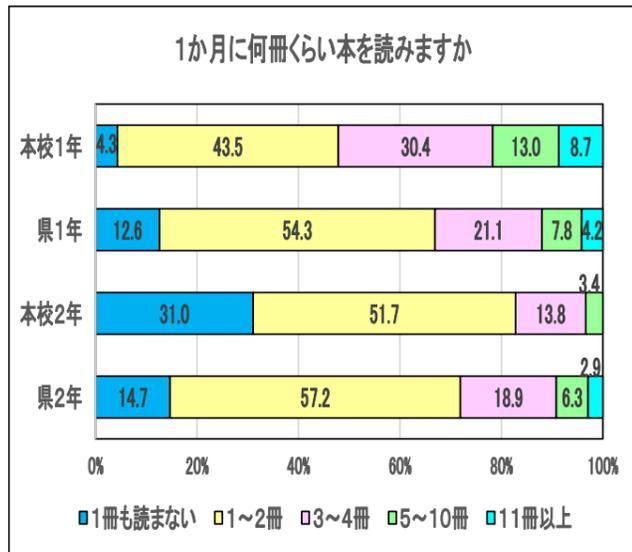
ただ、2年生の理科が県平均からポイント低くなってしまいました。定期テストでは回答率が高かった設問でも、時間が経つと忘れてしまうという生徒が多く、しっかり定着していないことが多いようです。また、データから科学的に考察し、適切に表現する力も不足しています。定着率が低い内容については再度指導するなど繰り返し復習する機会を設定するとともに、科学的な思考力を向上させるよう、授業改善を進めていきたいと思ひます。



□生徒質問紙調査の結果

肯定的回答(「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」)の割合





生徒質問紙調査の「勉強が好きだ」から「読書が好きだ」という設問に対する肯定的な回答（「当てはまる」＋「どちらかといえば当てはまる」）の割合は、ほぼ県平均と同様の結果となりました。ここでは、県平均と10%程度以上の差が見られた設問について考察します。

1年生は、「勉強が好きだ」という割合が高いのに対し、「勉強が大切だ」という意識は少ないようです。学力調査では県平均を大きく上回っているということから、「勉強するのは当たり前のこと」という意識が強く、意欲的に学習に取り組み、学習内容が定着しているのではないかと考えられます。

2年生は、学力調査の結果は1年生ほど高いとは言えないのですが、「学校の勉強がよく分かる」「自分にはよいところがあると思う」「将来の夢や希望をもっている」「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」などという設問で、県平均を大きく上回っています。また、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の設問には、全員が肯定的な回答をしています。学校生活に前向きに取り組み、自己肯定感が高く、将来についてもよく考えることができているようです。本校が重点的に進めてきた「キャリア教育」の成果と考えることができ、学力調査では計れない、「見えない学力」が身に付いてきているように感じました。

「読書が好きだ」という設問は、1、2年生とも県平均を上回る結果となりました。「本を読んだり借りたりするために、1か月に図書館にどれくらい行きますか」という設問は、県平均よりも高い結果となり、図書館を利用する生徒が多いと言えます。「1か月に何冊くらい本を読みますか」という設問では、1年生は3冊以上と回答した生徒が半数を超える結果となりました。しかし、2年生は月に1冊も読まないという生徒が31.0%、月に3冊以上読んでいるという生徒の割合は17.2%で、読書量は不足しているようです。

「学校がある日の勉強」「土曜日や日曜日の勉強」とも、県平均よりも長時間勉強に取り組んでいる生徒が多く見られました。特に1年生は長時間勉強している生徒の割合が高く、学力調査の結果が高いこととリンクしているように思います。ただ、1、2年生とも、毎日の学習が30分未満の生徒が見られ、土曜日や日曜日でも1時間未満という生徒も多いようです。特に2年生は、学習時間が少ない傾向にありますので、1年後の高校入試を見据え、少しずつ学習時間を増やすなど、学習習慣を見直す必要があります。2年生は「将来の夢や希望をもっている」という生徒の割合が大変高い結果となっていますので、自分の希望実現のための努力を重ねてほしいと思います。

本校では、生徒の学力向上のための授業改善とともに、生徒のキャリア発達を促す取組に力を入れています。しかし、単なる知識の詰め込み、行事の押し付けにならないよう、生徒が主語となるよう配慮し、今後も一人一人が楽しいと感じられる学校、ウェルビーイングな学校づくりを進めていきたいと思っております。ご意見、ご質問はいつでもかかっています。今後も、生徒のよりよい成長のために、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



2/2 ふるさとまつりで、大湫中の1、2年生(希望者)がボランティアとして活動しました

